

中津卓球ジムだより

第 32号 2016年2月 6日 (月)
 発行
 中津卓球ジム 代表 宇土省三
 TEL (0979) 31-7098



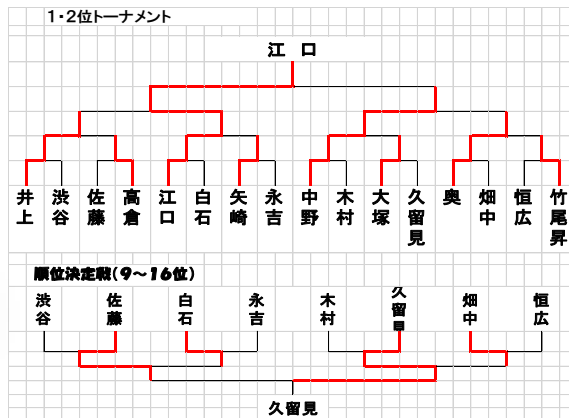
32人の方々にご参加をいただきました

中津卓球ジム主催「新春月例会」を今年もダイハツアリーナで開催しました。県内外より若手からベテランのホープまで、32人のたくさんの方々にご参加をいただきました。日ごろの月例会会員に加えて、西工大の現役バリバリの学生や九州大会で活躍している選手などの参加でハイレベルな月例会になりました。試合は西工大江口選手と緑中中野選手の決勝となり、江口選手がセットオールで退け優勝を飾りました。

中津卓球ジム主催「新春月例会」 32人参加で盛大に開催

全国選抜大会に宇土クラブから2人

3月24日から3日間、鳥取市で開催される全国ホープス選抜大会(都道府県対抗)にこのほど宇土クラブから渋谷有里子さん(5年)と山口彩美さん(4年)の2人が県代表として選ばれました。2人は数回の強化練習会を経て本大会に臨むこととなります。



日出町長杯で2種目優勝

1月22日に日出町で開催された日出町長杯に宇土クラブから一般の方々や小学生など25人ものたくさんの方々に参加しました。試合はA・B・C・Dの4クラスで行われ、このうちCクラスでは、小学生4年生コンビ、田原君、木村さんが男女でそれぞれ優勝をしました。そのほか、Bクラス女子の渡邊さんが3位、Cクラスの山口君が2位、Dクラスで荒金君が2位、岩丸君が3位と小学生が大活躍でした。またBクラス男子では小学生の保護者でもある渡邊さんが2位と健闘しました。



B部3位渡邊さん C部優勝田原君 C部2位山口君



C部優勝木村さん D部2位荒金君 D部3位岩丸君

全九州選手権優勝は心の財産
 学生時代の個人戦の大会は心に残る試合がたくさんあります。大分県に里帰りして戦う全日本予選や国体予選は負けられない試合として意地をもって戦った記憶があります。高校時代の県大会に出たことがないことから、大分県の人にも宇土はどんな卓球するんかえと興味深そうな顔して試合を見てました。4年間で一番心に残っている大会は3年生の時の全九州選手権(一般)で優勝したときです。今でも一戦一戦よく覚えていきます。翌年全日学生で優勝した九産大の吉田選手には8決定で対戦。厳しい戦いでし

たが勝利しました。決勝は福大の同級生で高校時代インターハイ2位の岡田選手でした。公式試合で初めて彼に勝つてのうれしい優勝でした。この日の夜、大分県から初の全九州チャンピオンが出たといつて県選手団がお祝いしてくれました。この優勝は私にとって生涯忘れることのできない心の財産になりました。そのほか、私は全九州学生でのダブルスではほとんどタイトルを取りましたが、なぜかシングルスでは一度も優勝がありません。ただ、九州・中国・四国の3地区大会では団体、シングルス、ダブルスと三冠をとることができました。



全九州学生準決より

アルジ ジム主の卓球回顧録